

スウェーデン分類

A	<p>妊娠または妊娠可能な女性に幅広く使われており、さらに/あるいは、信頼できる臨床上的データでは、奇形発生頻度の増加や胎児への直接・間接的な有害作用といった生殖発生過程を妨げる証拠は示されていない。</p>	
B1	<p>妊娠または妊娠可能な女性に対する使用経験はまだ限られているが、奇形発生頻度の増加や胎児への直接・間接的な有害作用といった生殖発生過程を妨げる証拠は示されていない。</p>	<p>生殖発生毒性試験では、胎児毒性や他の有害事象の発生頻度増加のエビデンスは示されていない。動物を用いた研究では生殖毒性の増加は観察されていない。</p>
B2		<p>生殖発生毒性試験は不十分または欠如しているが、利用可能なデータでは胎児毒性や他の有害事象の発生頻度増加は示されていない。動物を用いた研究は不十分または欠如しているが、生殖毒性の増加の出現は示されていない。</p>
B3		<p>動物を用いた生殖発生毒性試験で胎児毒性または他の有害事象の発生頻度の増加が観察されているが、ヒトにおける意義は不明である。</p>
C	<p>直接的な催奇形性ではないが、その薬理効果によって胎児の発生過程を妨げる、もしくは妨げる可能性が疑われる。</p>	
D	<p>ヒトにおける奇形の発現頻度を高める、あるいは永久的な障害を引き起こすというデータが生殖発生毒性試験等で示されている。このカテゴリーは催奇形性を持つ薬剤から構成されている。仮に胎児への直接・間接的な有害作用を持つ薬理効果を薬剤が持っているならば、そのことを明言しなければならない。</p>	